

JR東海労ニュース

一方的な休日出勤反対！

闘争シリーズ No.14

No.762 2005年12月5日

JR東海労働組合

会社はスト回避の努力をすべきだ

ストライキ権確立を背景に「一方的休日出勤」の解消を求めて申し入れを行いました。会社の回答は既報の通り、全く誠意のあるものではありませんでした。

ところで松本社長は、JR東海労のストライキと休日出勤に関して「社員の健康や、生活設計にも十分配慮したうえで乗務員に一部の休日について休日出勤を命じている……JR東海ユニオンや、国鉄労働組合は、当社の社会的使命や輸送状況を理解し、休日勤務に対応していただいているところであります」などとコメントを出しているようである。冗談ではない！
JR東海労組合員だって休日出勤に協力してきたではないか！
私たちは本人の同意なき一方的休日出勤と、「休日出勤を解消するスタンスに変わりはない」といいつつ解消する目途さえ明らかにしない会社の姿勢を問題にしているのである。

会社は「争議行為を回避する努力」を放棄していると言わざるを得ません。従って12月1日、私たちの「争議行為の予告」に対する会社の見解を明らかにすること、事前に平和的に解決する意志があるのか明らかにすることなどを求め、「闘争3号」を申し入れました。

争議行為の予告に対して会社の見解を明らかにせよ！

事前に平和的に解決する意志があるのか明らかにせよ！

解決する意志があるのならば、具体的な考え方を明らかにせよ！